



THE OGURA TIMES

港区と区議会をもっと身近に

2016.10 港区政レポート Vol.6

平成28年度第3回定例会において登壇し、区長・教育長に質問いたしました。

第3回定例会 一般質問 (一部抜粋)

★来年度開設予定の(仮称)みなと在宅緩和ケア支援センターは、どのように医療・福祉機関、研究機関、企業と連携していくのか？

⇒港区はこれまで区内の医療機関に働きかけ、がん患者の療養病床の確保や医療・福祉専門職を対象とした研修に取り組んできた。今後はがんに関する講習会、啓発、がん患者に適した医療用ウィッグ(かつら)、補正下着など、がん患者のための外見支援にも取り組んでいく。



外見支援(アピランス支援)：

脱毛、傷あと、皮膚の変色、爪の変化など、がんの治療にともなう外見の悩みに対する支援

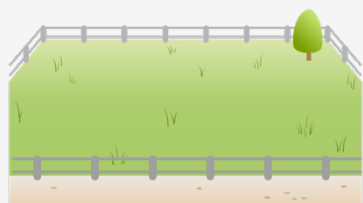


平成28年9月、港区議会本会議場にて

★人口増加と土地高騰の中で、保育施設や高齢者施設、また学校建て替えのための仮校舎など、港区の中で必要な施設を整備するための場所がない。積極的な策が必要では？

⇒国公有地は積極的に情報提供を求め、民有地については区有地の隣接エリアの情報収集をしている。

公共施設用地として利用できそうな土地は機会を逃さないよう取得する。今後の建設は複合化や施設間の機能共有も進めていく。



地域のみなさんの声が反映されました！

★平成29年4月から、港区立六本木中学校の英語科国際の授業に『ネイティブ・コース』が設置され、英語力の高い生徒の活躍の場や、能力を更に伸ばす場として、オールイングリッシュの授業が展開されます(通常の『スタンダード・コース』も)。

国際学級のある東町小学校の保護者をはじめ、たくさんの方々から『国際理解の進んだ小学生が進学する区立中学校の選択肢がない』と声があり、港区ならではの教育が必要と習熟度別授業を提案。早期に実現しました。港区のご理解に感謝します。

英語科国際：

週4時間の英語授業に加え、港区の中学校が独自に週1時間行う授業です。主に、英語によるコミュニケーション能力を向上させるための授業を展開しています。

平成27年度 決算特別委員会報告 (一部抜粋)

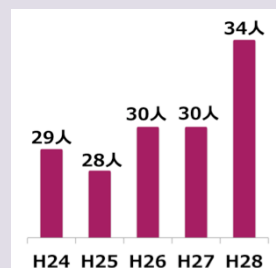


地元商店街の利用を推進・応援する取り組みの追跡。
オリジナルのロゴ&キャッチコピーで商店街の認識を高める取り組みを提案していました。港区商店街連合会からも想定以上の反応とご協力をいただいた点、SNSやケーブルテレビも今後活用していく旨の回答がありました。区役所職員による公務連絡にもロゴを用い、地元商店街のPRを積極的に行っていたみたいです。更なる展開と将来の成果を期待します。

買い物
するなら
地元の
商店街で

外国人観光客を商店街に取り組む策として、平成27年5月から商店街が**免税手続きカウンター**を設置できるようになりました。港区においても免税対応機器の購入経費やPR経費などの費用に要する経費を補助する取り組みがあります(1,666万6千円を上限に初期投資の6分の5を助成)。

外国人児童向けに英語で授業を行う国際学級が有名な港区ですが、国際化を目指していくには**日本語学級・日本語適応指導**も並行に充実させるべきと主張しています。10月現在、日本語学級へ通級している児童は38名、その他に区内で日本語適応指導を受けている児童が47名おり、港区は今年度中に日本語学級に対するニーズ調査を初めて行うと報告がありました。国際学級と日本語学級の差も浮き彫りになり、諸課題に対して検討が必要なることを指摘しました。



算小学校の日本語学級に通級する児童数の推移(年度)

国際学級
在籍制限なし

日本語学級
在籍制限：2年

日本語適応指導
1年間48時間のみ

	延床面積 3000平米以上	敷地面積 3000平米以上
H27協議件数	28件	6件
今までの成果	防災施設(58) 医療施設(15) 保育施設(3) スーパー・コンビニ(31)	電線地中化 虎ノ門駅拡張 駅前広場整備 保育施設

港区開発事業にかかわる定住促進指導要綱に基づく
開発事業者の港区への貢献の成果(施設整備)

港区のまちづくりに関し、地域で必要な施設・設備が整備されていないのが現状です。開発事業者の協力も得ているとのことでしたが、オフィス等の開発事業者に対してどのような指導を行っているのか、協議件数と成果について質問しました。

事業者も非常に協力的であるとのことでしたが、生鮮3品を扱う店舗の導入が難しい地域があることや、保育施設を含む福祉施設整備が進んでいないことが判明しました。テナント料や週末人口から導入が敬遠される傾向があるようですが、まだ課題が蓄積しています。地域の需要をどのように満たしていくか、事業者との協力以外に方法があるのか、今後も注視していきます。

小倉りえこの質問【総務費】総合支所の予算や執行権限、外国人にも理解できる日本語表現の情報発信【民生費】地域包括ケアシステム基礎調査、モデル事業【衛生費】みなと緩和ケア支援センター、アピアランス支援【産業経済費】免税手続きカウンター、地元商店街の購買促進策【土木費】開発における地域貢献【教育費】日本語学級、中学校の英語評価、区費講師の採用基準

小倉りえこ プロフィール

東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
総務常任委員会 議会運営委員会

- 港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒
- 米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- バイオベンチャー・製薬企業において、リウマチ、がん、線維筋痛症などの医薬品研究開発に従事
- 平成27年4月の改選で初当選。1期目スタート。

ご意見・お声をお寄せください

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601
〒106-0045 港区麻布十番1-8-7 三幸園ビル
Tel/Fax 03-3455-6208

<http://ogura-rieko.com>